

2015年4月20日

**電通総研「若者まるわかり調査 2015」を実施**  
—「ウラハラ・マインド」を持つ、今の若者像が明らかに—

電通総研は、生活者に関する意識潮流を探り、生活者の未来を読み解く活動を行っていますが、このたび電通若者研究部（ワカモン）と共同で、関東・関西・東海圏の高校生・大学生・20代社会人の3,000人を対象に「若者まるわかり調査 2015」を実施しました。この調査は、若者の価値観、社会や将来に対する意識、コミュニケーションや消費に対する意識、趣味や好きなこと、などについて聞いたものです。

調査の結果、社会や将来に対する意識については、自分の将来を不安と感じている割合（64.4%）よりも、**日本の将来が不安**と感じている割合（77.3%）の方が高いことが分かりました。一方で、**89.5%の若者が日本のことを好き**と回答しています。

コミュニケーション意識については、複数のグループやつながりを持ち、複数のキャラやSNSを使い分けてうまくコミュニケーションしながらも、**人間関係をリセットしたくなる**ことがあるというマインドがあることが分かりました。

日本の将来は不安だけど日本のことは好き、つながっていたいけど人間関係をリセットしたい、など裏腹な意識＝「ウラハラ・マインド」を持つ今の若者像が明らかになりました。

以下、調査で得られた主なトピックをご紹介します。

.....

**<若者の5つのウラハラ・マインド>**

1. 『日本の将来は不安』 だけど、日本のことは好き
2. つながっていたいけど、『リセットしたい人間関係』
3. 自分たちが『社会をリードしたい』 けど、変えることまでは考えていない男子
4. 『老後の生活が不安』 だけど、今は楽しみたい女子
5. 欲しいものはあるけど、『堅実・節約家と思われたい』

**1. 『日本の将来は不安』 だけど、日本のことは好き**

- ・日本の将来が不安と回答した割合は全体の77.3%で、自分の将来が不安という回答（64.4%）よりもスコアが上回っている。（図1）
- ・日本のことが好き、と回答した若者は全体の89.5%。（図2）

## 2. つながっていたいけど、『リセットしたい人間関係』

- ・一緒に行動したり、情報を得たりしているグループ・つながりは全体で平均 7 個、正直整理したいと思うグループ・つながりは全体で平均 2 個存在。(図 3)
- ・ふだんの生活で使うことのあるキャラの数は、高校生で 5.7 キャラ、大学生で 5.0 キャラ、20 代社会人で 4.0 キャラ。(図 4)
- ・LINE や Twitter は全世代、Facebook は大学生以上で浸透。Instagram は女子高校生の 2 人に 1 人がアカウントを所有。複数の SNS を使い分けている。(図 5)
- ・Twitter に登録していると回答した人のうち、複数アカウント所有率は、高校生で 62.7%、大学生で 50.4%。(図 6-1)
- ・人間関係をリセットしたくなることがあると回答したのは全体の 54.7%。最も高かったのは女子高校生で 67.8%。(図 7)

## 3. 自分たちが『社会をリードしたい』けど、変えることまでは考えていない男子

- ・「自分たちの世代が中心となってリード・牽引していきたい」か「上の世代が中心となってリード・牽引していくべき」という質問では、58.0% : 42.0%となった。前者で最も高かったのは男子大学生で 68.6%。(図 8)
- ・「社会の制度は自分たちの働きで変えられると思う」か「自分たちではどうにもできないと思う」という質問では、42.9% : 57.1%となった。(図 9)

## 4. 『老後の生活が不安』だけど、今は楽しみたい女子

- ・現在、不安だと思うことは、高校生は「受験・進学」「就職」、20 代社会人は「お金」「仕事」が上位。20 代社会人女子では「お金 (66.3%)」「仕事 (44.9%)」「結婚 (44.8%)」に加え、「老後の生活 (42.5%)」が上位にランクイン。(図 10)
- ・今しかできないと思う趣味・好きなこととして、女子高校生は「プリクラ (28.7%)」「自撮り (セルフィー) (15.0%)」、女子大学生は「友人とのイベント (タコパ、宅飲みなど) (12.7%)」、20 代社会人女子は「海外旅行 (12.1%)」「国内旅行 (10.9%)」と、親しい友達と楽しむ体験や思い出づくりの行動が挙げられている。(図 12)

## 5. 欲しいものはあるけど、『堅実・節約家と思われたい』

- ・「欲しいものがある」という回答は全体の 86.5%。ただし、「欲しいものはあるが、無理して買うほどではない」という回答がすべての層で 5 割を超えた。20 代社会人男子では、2 割が「欲しいものはない」と回答。(図 13)
- ・すべての層で「まわりから気前がいい・金払いがいい」と思われるよりも、「堅実・節約家と思われたい」が上回る結果になった。(図 14)

----- 【調査結果の詳細】 -----

(N=回答者数)

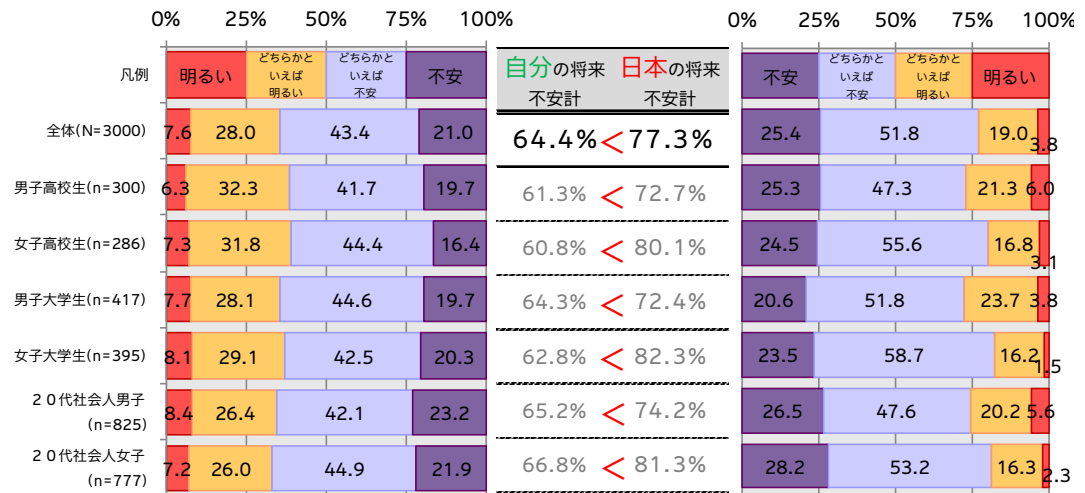
※図のスコアは小数点第2位で四捨五入しているため、足し上げても100%にならない場合があります。

1. 『日本の将来は不安』だけど、日本のことは好き

●自分の将来も不安だが、日本の将来はもっと不安。

将来に対する意識で、自分の将来が不安と回答した割合は、高校生から20代社会人のすべての層で約6割台となり、明るいよりも不安が上回る結果となった。日本の将来に対する不安はそれ以上に高く、特に女子で不安と回答する割合が高くなっており、女子大学生では82.3%と5人に4人以上となっている。

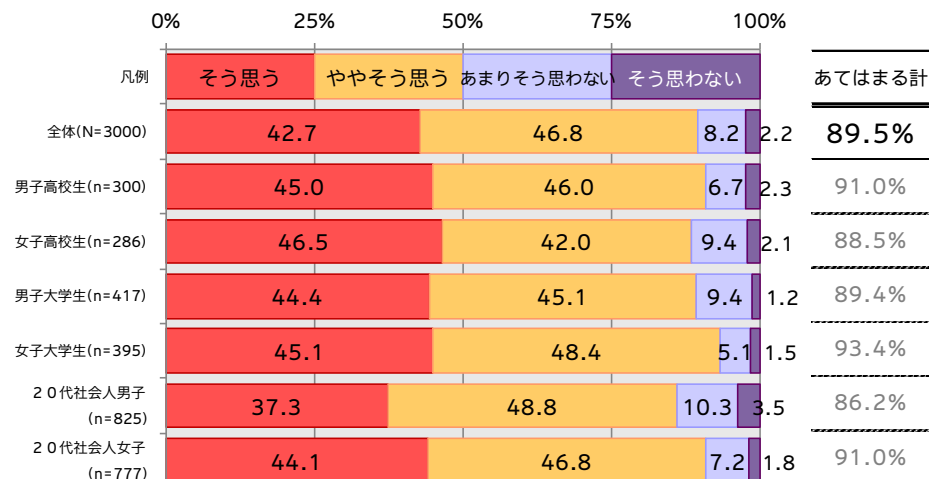
図1 自分の将来/日本の将来が明るいと思うか



●日本のことが好きな若者は全体の89.5%。

日本のことが好きと回答した若者は全体の89.5%。女子大学生が最も高く、20代社会人男子が最も低いが、どの層も9割前後のスコアになっている。

図2 日本のことが好き



## 2. つながっていたいけど『リセットしたい人間関係』

### ● 一緒に行動するつながりは平均7個。そのうち整理したいつながりが2個存在。

一緒に行動したり、情報を得たりしているグループやつながりの数は、高校生・大学生・20代社会人ともに約7個。男子より女子の方が多く、特に女子大学生は8.3個と最も多い。すべての層に共通していることとして、素でいられるつながりやグループは約4個ある一方で、正直整理したいと思うつながりの数は約2個あることが分かった。

図3 若者のつながりの数

- ① つながりの数
- ② 素でいられるつながりの数
- ③ 正直整理したいと思うつながりの数

	高校生			大学生			20代社会人		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③
	7.2個	3.6個	2.0個	7.4個	4.1個	1.9個	6.8個	3.7個	2.0個
男子	6.7	3.4	2.0	6.6	3.8	2.0	5.9	3.3	2.0
女子	7.7	3.8	2.0	8.3	4.4	1.8	7.6	4.0	2.0

※一緒に行動したり、情報を得たりしているグループやつながりを回答してもらい、その平均回答数から算出。

### ● 6つのキャラを使い分ける高校生のコミュニケーション術。

ふだんの生活で使うことのあるキャラの数は、高校生で5.7キャラ、大学生で5.0キャラ、20代社会人で4.0キャラ。最も多いのは、女子高校生の6.6キャラ。使うキャラの数は、男子に比べて女子の方が多く、ライフステージが若ければ若いほど、日常でのキャラの使い分けが活発に行われていることが分かった。

図4 若者のキャラの使い分け

ふだんの生活で使うことのあるキャラの数

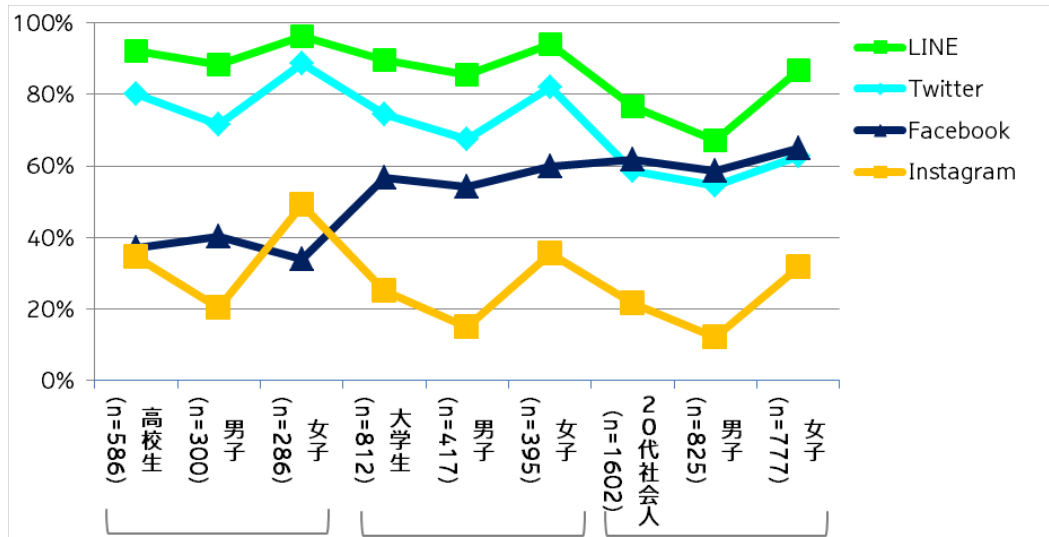
	高校生	大学生	20代社会人
	5.7キャラ	5.0キャラ	4.0キャラ
男子	4.9	4.2	3.2
女子	6.6	5.8	4.8

※ふだんの生活で使うことのあるキャラを複数回答してもらい、その平均回答数から算出。

● 女子高校生を中心に Instagram の利用が広がる。

SNS の利用状況を見ると、LINE や Twitter は男女や層を問わず、Facebook は大学生以上の層に広く浸透していることが確認できる。Instagram は女子の登録率が高く、女子高校生では 2 人に 1 人がアカウントを持っている。目的やシーンや相手に合わせて、複数の SNS を使い分けている状況が分かる。

図 5 SNS 登録率



● Twitter は複数アカウントが当たり前。

Twitter に登録していると回答した高校生の 62.7%、大学生の 2 人に 1 人 (50.4%) が Twitter の複数アカウントを所有。高校生は平均 3.1 個のアカウントを使い分けている。高校生を中心に、Twitter アカウントの複数持ちは当たり前になっている。

図 6-1 Twitter 複数アカウント所有率

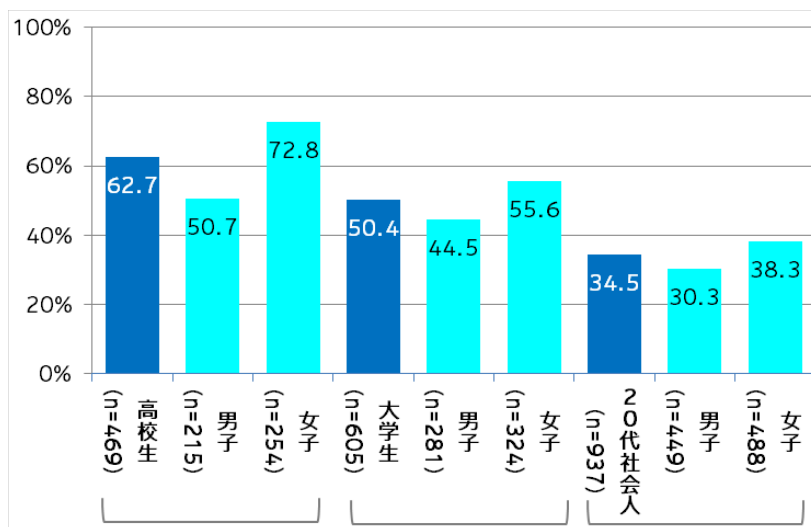


図 6-2 平均個数

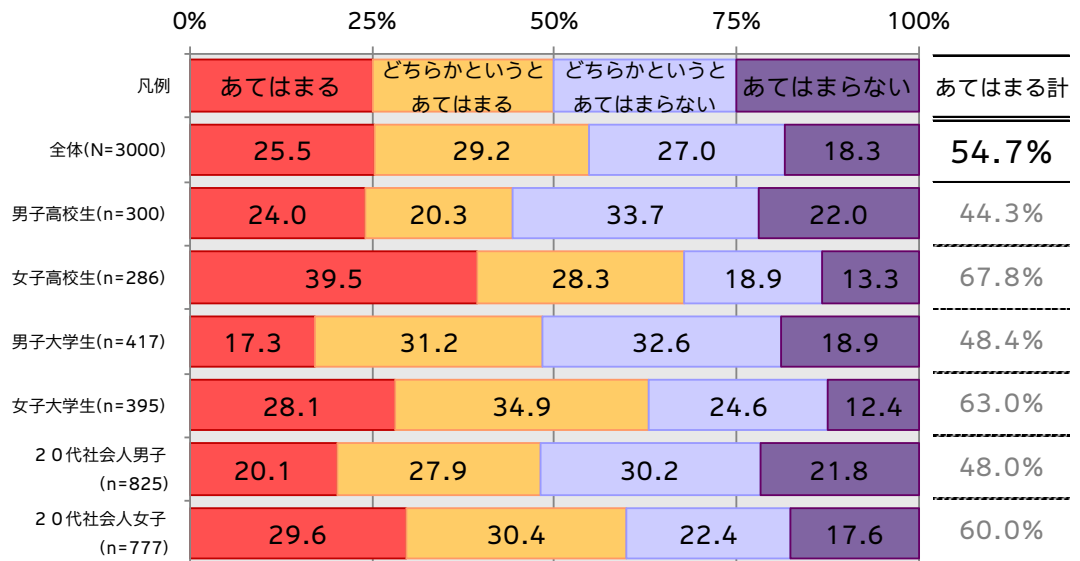
平均個数	Twitter アカウント数
高校生	3.1個
男子	2.7個
女子	3.4個
大学生	2.5個
男子	2.6個
女子	2.5個
20代社会人	2.7個
男子	2.8個
女子	2.6個

\*Twitter登録者ベース

● 7割の女子高校生が人間関係をリセットしたくなることがある

人間関係をリセットしたくなることがあるか、という意識を聞いたところ、「あてはまる計（あてはまる＋どちらかというにあてはまる）」と回答した割合は全体で54.7%。女子高校生では約7割、女子大学生・20代社会人女子も約6割となった。総じて男子に比べ女子の方が特にスコアが高く、つながりの数と比例して高くなっている。

図7 人間関係をリセットしたくなることがある

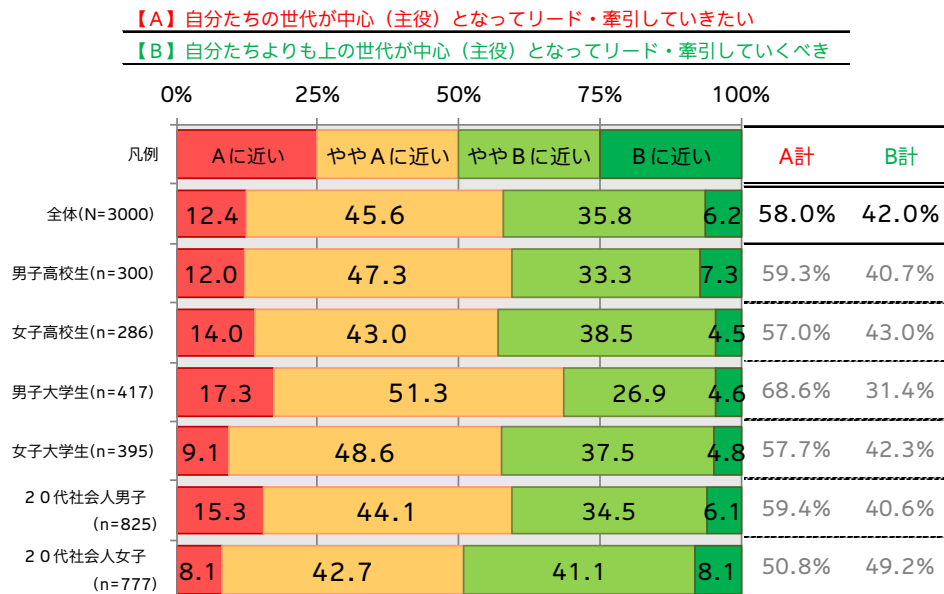


### 3. 自分たちが『社会をリードしたい』けど、変えることまでは考えていない男子

#### ●自分たちの世代が引っ張っていきたいと思う男子大学生。

「自分たちの世代がリード・牽引していきたい」か「上の世代が中心となってリード・牽引していくべき」かを聞いたところ、前者のスコアが58.0%となった。特に男子大学生では68.6%と最も高くなっている。

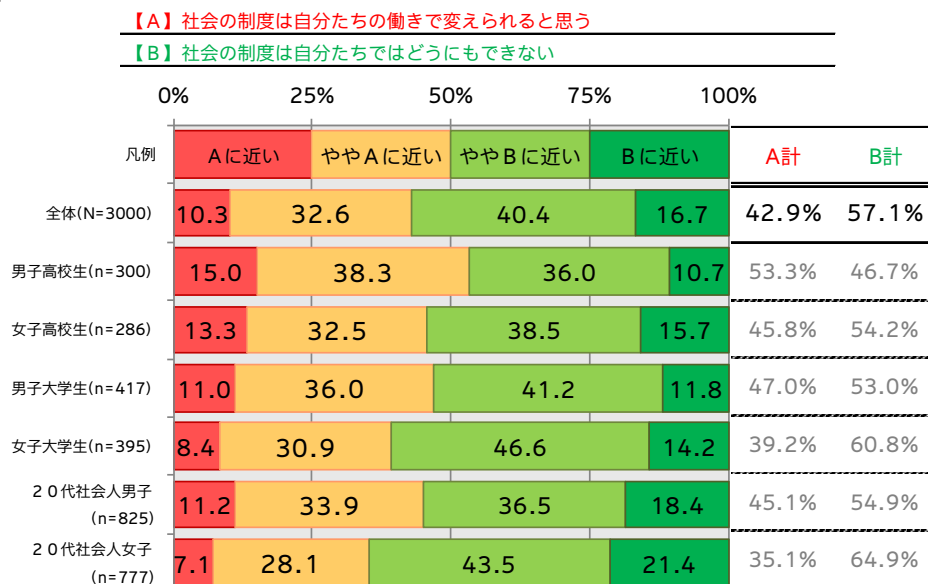
図8 将来に対する意識



#### ●ただし社会を変えられるとまでは思っていない。

「社会の制度は自分たちの働きで変えられると思う」という回答は、男子高校生では5割をやや上回っているものの、全体では5割を下回っている。年代が上がるにつれて、どうにもできない、という意識が強まっていくことが分かった。

図9 社会に対する意識



#### 4. 『老後の生活が不安』 だけど、今は楽しみたい女子

##### ● 20代社会人女子はお金と結婚と老後の生活が不安。

不安だと思うことを属性別に見ると、高校生から大学生にかけては「受験・進学」と「就職」、20代社会人は「お金」「仕事」が上位にランクイン。

世代別に見ると、男子では、「受験・進学」「就職」を経て、20代後半にかけて「お金」のスコアが高まる。女子では、20歳前半から後半にかけては「結婚」と「老後の生活」のスコアが高まっていき、これらは27歳を超えると「仕事」に対する不安よりも高くなっていく。

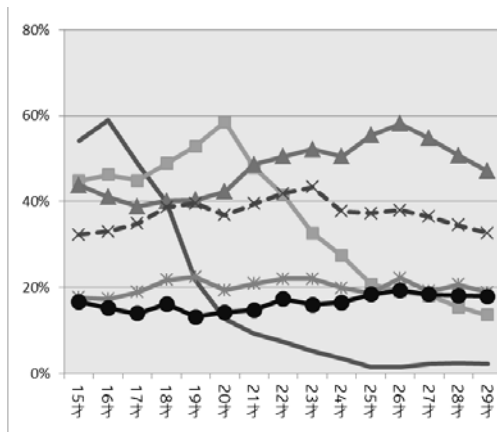
図10 現在「不安」だと思うこと（属性別）

男子高校生 n=300			女子高校生 n=286		
1	受験・進学	51.0	就職	57.7	
2	就職	45.0	お金	55.9	
3	お金	39.3	受験・進学	52.8	
4	仕事	35.3	自分のコミュニケーション能力	45.1	
5	自分のコミュニケーション能力	32.0	日本の政治や経済	45.1	
男子大学生 n=417			女子大学生 n=395		
1	就職	54.2	就職	66.8	
2	お金	47.0	お金	59.2	
3	仕事	39.6	仕事	54.4	
4	自分のコミュニケーション能力	34.1	日本の政治や経済	49.6	
5	日本の政治や経済	30.7	自分のコミュニケーション能力	46.1	
20代社会人男子 n=825			20代社会人女子 n=777		
1	お金	52.7	お金	66.3	
2	仕事	37.0	仕事	44.9	
3	日本の政治や経済	26.3	結婚	44.8	
4	異性との交際	22.2	老後の生活	42.5	
5	結婚	20.7	日本の政治や経済	37.1	

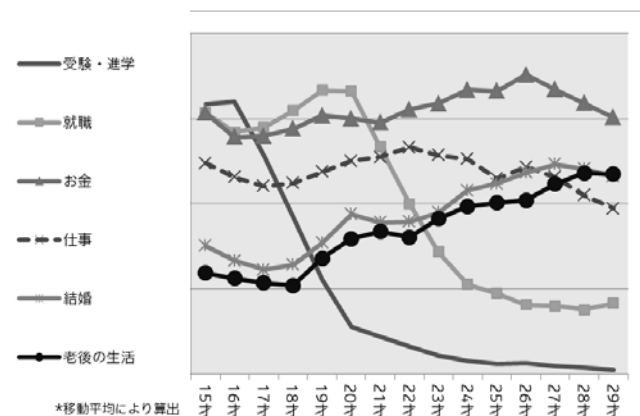
単位：%

図11 現在「不安」だと思うこと

##### 男子年齢別



##### 女子年齢別



\*移動平均により算出



● 女子は“今しかできない体験や思い出づくり”を楽しむ。

今しかできないと思う趣味・好きなことを聞くと、男子では「ファッション」「アニメ」が上位。女子では「ファッション」や「メイク・美容」が共通して上位。女子高校生では「プリクラ（28.7%）」や「自撮り（セルフィー）（15.0%）」「ハロウィンなどのイベント時のコスプレ・仮装（14.3%）」、女子大学生では「友人とのイベント（12.7%）」、20代社会人女子では「海外旅行（12.1%）」「国内旅行（10.9%）」となるなど属性による違いが見られる。

その年齢でしかできない、時間やお金を消費することとして、男子は自分が楽しめるものやこと、女子は親しい友達と一緒に楽しめて思い出づくりになる体験性の高いものやことを重視している傾向がある。

図 12 今しかできないと思う趣味・好きなこと

男子高校生		n=300	女子高校生		n=286
1	ファッション	12.0	プリクラ	28.7	
2	アニメ	12.0	ファッション	28.0	
3	スマートフォン・携帯電話でのインターネット	11.0	メイク・美容	17.8	
4	PC・スマートフォン・携帯電話でのゲーム	9.7	自撮り（セルフィー）	15.0	
5	ゲーム機器でのゲーム	9.0	ハロウィンなどのイベント時のコスプレ・仮装	14.3	
男子大学生		n=417	女子大学生		n=395
1	アニメ	10.6	ファッション	18.7	
2	ファッション	10.3	友人とのイベント（タコバ、宅飲みなど）	12.7	
3	ゲーム機器でのゲーム	9.8	メイク・美容	12.4	
4	国内旅行	9.1	アイドル	12.4	
5	PC・スマートフォン・携帯電話でのゲーム	8.2	テーマパークへ行く	10.9	
20代社会人男子		n=825	20代社会人女子		n=777
1	ファッション	10.5	ファッション	24.5	
2	アニメ	9.2	メイク・美容	17.9	
3	PCでのインターネット	8.1	ショッピング	12.4	
4	マンガ	7.4	海外旅行	12.1	
5	ゲーム機器でのゲーム	6.4	国内旅行	10.9	

単位：%

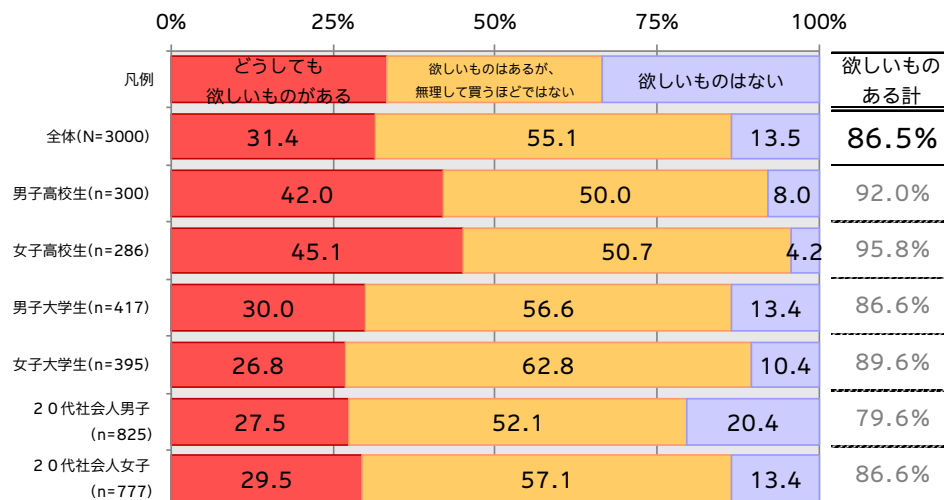
## 5. 欲しいものはあるけど、『堅実・節約家と思われたい』

- 欲しいものはあるが、無理して買うほどではないと答える若者が2人に1人。

今欲しいものがあるかを聞いたところ、あるという回答が全体の86.5%。ただし、内訳をみると、「欲しいものはあるが、無理して買うほどではない」という回答がすべての層で5割を超え、20代社会人男子では、2割が欲しいものはない、と回答している。

図13 あなたは、今欲しいものはありますか。

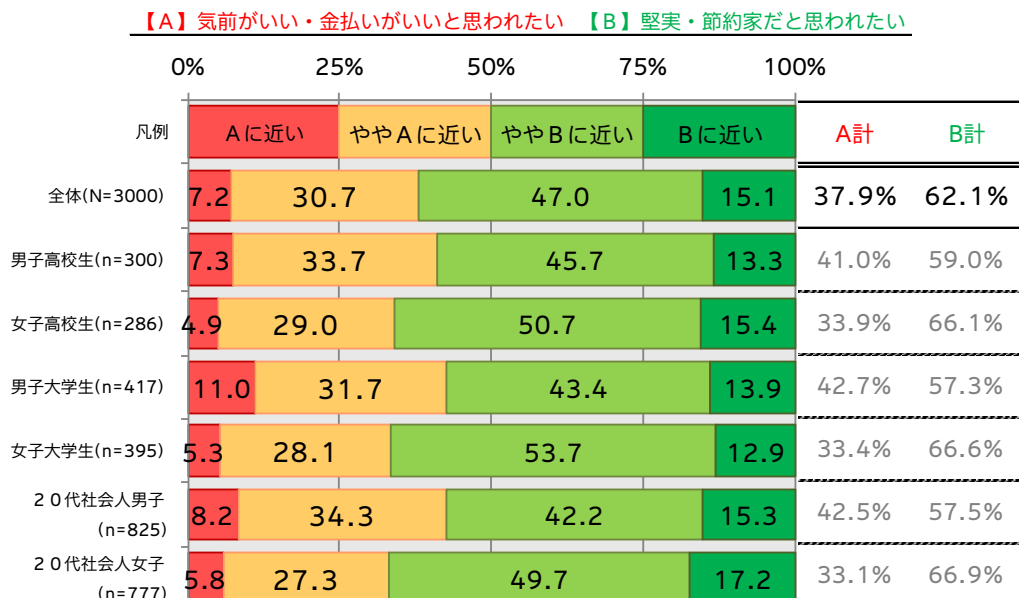
※お金を出して買うもので、自分で買ったり、人からプレゼントされたいものなどをイメージしてお答えください。



- 気前がよくて金払いがいいキャラよりも、堅実・節約家キャラと思われたい。

すべての層で「気前がいい・金払いがいいと思われる」よりも、「堅実・節約家だと思われたい」が上回る回答になった。女子高校生、女子大学生、20代社会人女子では7割（堅実・節約家だと思われたいに近い+やや近い）に近いスコア。

図14 お金意識



---

■「若者まるわかり調査 2015」の概要

- ・調査手法 : インターネット調査
- ・対象エリア : 関東 1 都 6 県、関西 2 府 4 県、東海 3 県
- ・調査対象 : 高校生以上の未婚 15～29 歳男女  
※対象エリアの性・年代別人口構成比率および未婚率に基づいた割付を実施
- ・サンプル数 : 3,000 サンプル
- ・調査時期 : 2015 年 2 月 6 日（金）～2 月 9 日（月）
- ・調査実施機関 : 株式会社電通マクロミルインサイト

【本調査に関する問い合わせ先】

株式会社電通

電通総研 ヒューマン・スタディーズ・グループ 小木 TEL : 03-6216-8458

電通若者研究部（ワカモン） 奈木、狩野、吉田

電通若者研究部（ワカモン）についての情報は下記をご覧ください。

ウェブサイト URL : <http://www.dentsu.co.jp/dii/project/wakamon/index.html>

Facebook ページ URL : <https://www.facebook.com/wakamon.dentsu>

以 上